

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日 ~ 2025年 2月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日 ~ 2025年2月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童さんの特性を理解したうえで、活動を行っている。	担当者会議等積極的に参加して、他の関係機関との連携・保護者との信頼関係の構築に励んでいる。	今後も行っていく。
2	活動の様子等InstagramなどのSNSに積極的に記載している。	SNS部門の担当のスタッフがいるため、定期的に活動の内容を載せている。	今後もSNSの更新は続けていき、事業所の活動を知ってもらう。
3	利用児童が事業所に来ることを楽しみにしてくれている。	来所する児童に合わせての活動の計画・長期休みの外出支援の活動は、楽しみながら学ぶをモットーにスタッフと話し合いながら考えている。	全ての児童が事業所での活動に楽しく参加できるように、日々スタッフ間で話し合い振り返りを行い、活動の幅を広げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個室でのクールダウンスペースが今のところ設置が出来ていない。	クールダウンスペースはあるが、防音の個室ではないため児童の切り替えに時間がかかっている状態。	可動式のクールダウンスペースの配置や、事業所外でクールダウンを促せるようにスタッフの人員の配置の検討を行う。
2	構造上のバリアフリー対応		事業所内で出来る範囲での改善を行う。

3	部屋の構造上、個別療育が集団療育に比べて少ない。	部屋の構造や活動スペースを踏まえると個別療育が充分に行えるスペースの確保が難しい。	個別療育を行えるように日々の集団療育の見直し、スタッフの配置を検討していく。
---	--------------------------	---	--